

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38088
事業名	さっぽろ芸術文化の館解体費					
評価担当課	所属名	市)文化部 文化振興課				
	課長名	木戸 拓史	担当者名	小川 桜、坂本 経才	電話番号	011-211-2261
施策名	主	活力があふれ世界を引きつける都心				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	大規模ホールの計画的な配置を実現することで各ホールの高い稼働率を確保するとともに、都心(北1西12)に有効活用可能な土地を創出する。			
		長期	-			
	取組内容	H30年9月に閉館したさっぽろ芸術文化の館(ニトリ文化ホール)を解体する。				
	実施結果	令和4年6月17日に解体が完了した。				
事業実施における工夫点	-					
対象者	市民	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市文化芸術基本条例、建築基準法、建築リサイクル法、アスベスト対策関連法、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法					
他都市の状況	他都市においても老朽化したホールの解体が行われている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	906,099	1,576,000	1,055,973	493,000	
うち特定財源	119,460	163,338	107,816	0	
人工	1.7	1.7	1.7	0.0	
人件費	12,240	12,240	12,240	0	
計(事業費+人件費)	918,339	1,588,240	1,068,213	493,000	
事業費の内訳	令和3年度決算	・さっぽろ芸術文化の館解体工事1,048,700千円 ・PCB廃棄物7,274千円			
	令和4年度予算	・さっぽろ芸術文化の館解体工事493,000千円(繰越明許費)			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	さっぽろ芸術文化の館の解体			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	-	完了	未完了	完了	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	当初想定していなかった地下構造体の解体に伴う土壌改良の追加作業が必要となり、進捗が遅れ当初の契約工期でしゅん功できなくなり、令和4年6月に解体が完了した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	施設解体工事に必要な業務を実施しており、事業規模は適切である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	高い専門性が求められる事業であるため、委託業務による手法は適切であり、工事担当部局と打ち合わせを行い、計画的・効率的に事業を実施するよう努めている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	敷地外周の仮囲いの設置等により、解体工事における市民の安全確保に努めた。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	なし				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	○ A ● B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	令和3年に解体工事完了できなかったため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善 ○ 現状維持 ● 休止・廃止 令和4年6月に解体工事完了			
	予算	○ 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ● その他 -		見直し効果額	0 千円